



郵政博物館  
研究紀要

郵政歴史文化研究会編

# 郵政博物館 研究紀要

平成25年度 第5号 (2014年3月)



平成25年度 第5号 (2014年3月)

## 表紙解説

### 「郵便取扱の図」（郵政博物館所蔵）柴田真哉筆

#### 第九図 市街地の郵便取集と人車

郵便外務員が郵便ポストから郵便物を取り出す様子が描かれている。この黒塗柱箱は、明治5年に東京府内郵便が開かれたときに設置されたもので、差入口にPOSTの表示があったことから郵便ポストと呼ばれるようになった。人車は雨覆いをかけた柶車タイプで、郵便支局へ郵便を運ぶ市内伝送便と思われる。

#### 第十図 雪中の郵便馬車と人車

雪の中を疾走する2頭立ての郵便馬車と箱車タイプの人車が描かれている。馬車の両脇についているのは夜道を照らす角灯（ライト）で、丸に一引きの旗は郵便旗である。この時期（明治10年代後半）の陸運の主役は、郵便馬車と人車、それに前号第八図で紹介した徒歩による駅伝輸送であった。